

林業安全コラム

身につけた
基本動作が 身を守る
(林災防2019年度労働安全標語)

○ 台風等による被害木処理の安全確保について

本年は度重なる台風などの影響により、各地に大きな被害をもたらされ、大量の被害木（転倒木等）が発生しております。今後の本格的な被害木の処理に当たっては、通常の立木の伐倒とは異なり、伐倒時に不安定な状態にあること、切断時の跳ね返りの恐れがあることなど、労働災害を起こしやすい条件にありますので特に注意深い作業が必要となります。被害木の処理における安全確保に万全を期すようお願い致します。

○ 令和元年度の労働災害発生状況について

労働災害発生状況（速報）によると、1月から9月の林業の死亡災害は29人で、前年同期比5人（20.8%）増加しています。伐倒作業中の災害が多い傾向が続いています。

死亡災害発生状況（速報）

(令和元年10月7日現在)

業種	令和元年(1月～9月)		平成30年(1月～9月)		対30年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	548	100.0	577	100.0	-29	-5.0
建設業	173	31.6	203	35.2	-30	-14.8
林業	29	5.3	24	4.2	5	20.8

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

また、死傷災害は878人で、前年同期比51人（5.5%）減少しています。

令和元年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上之死傷災害）（速報）

(令和元年10月7日現在)

業種	令和元年(1月～9月)		平成30年(1月～9月)		対30年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	79,591	100.0	81,452	100.0	-1,861	-2.3
建設業	9,790	12.3	9,943	12.2	-153	-1.5
林業	878	1.1	929	1.1	-51	-5.5

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

関係各位におかれては、基本動作の励行、労働安全衛生規則や各種ガイドラインを遵守するなど、引き続き労働災害の撲滅に向けご協力をお願いします。

○ チェーンソー防護ブーツの着用について検討をお願いします。



チェーンソー防護ブーツにより、確実に足もとの創傷を防止又は軽減することができるのですが、いまいち普及が進んでいきません。「歩きにくい」・「滑る。逆に危険だ」との声が聞こえてきます。皆さん思い出して下さい。チェーンソー防護衣の着用を進められた時のことを。「重い、歩きづらく逆に危険だ」そんな風に言ってませんでしたか。

厚生労働省の「労働災害原因要素の分析」によれば、林業の平成27年休業4日以上之創傷による死傷者数439のうち、6割を下肢が占めていますが、そのうち約半分を足首、甲、足指などの防護ズボンでは防げない部分が占めていることはあまり知られていません。

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・新潟県（発令期間：R元. 8. 21～R元. 11. 30）・宮崎県（発令期間：R元. 10. 21～R2. 1. 31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org)

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629